

「潰し」 書入手

疑惑の 「雪解け」



6月、日本の登録反対を主張し、会見した韓国の国会議員たち

独自入手した韓国の「告げ口」文書

六月末から、ドイツのボ
ンで開幕したユネスコ世界
遺産委員会。七月三日から
五日の間には、いよいよ日
本が推薦する「明治日本の
産業革命遺産」について登
録の可否が審議される。

これまで韓国が散々妨害
のための国際ロビー活動を
展開してきたのは周知の事
実。だがその韓国も、六月
二十二日の日韓国交正常化
五十周年を機に矛をおさ
め、両国がともに世界遺産
に登録されるよう協力して
いくことで一致した。にわ
かに「雪解け」が訪れたは
ずだったのだが……。

文化遺産の専門家組織で
あるICOMOSの関係者
が意外な実態を明かす。
「実はその後も、委員国関
係者に、韓国側から日本の
登録に反対する旨の資料が
送られてきています」

一体どんな資料なのか。
取材を続ける小誌に、ある
在外公館大使が、「韓国が
どんなひどい資料を世界に
ばら撒いているか、実状を
知ってもらいたい」と、絶
対匿名を条件に提供してく

れた外交文書の束が手元
にある。A4用紙二十枚にわ
たるもので、英文で記さ
れ、表紙には「Republic
of Korea
a」とある。つまり韓国政
府が作成した公式文書だ。
提供者が明かす。

奴隷労働と密接に関係する

「この文書は、韓国がユネ
スコ世界遺産センターと、
ICOMOSに送ったもの
です。韓国は他の世界遺産
委員会委員国にもこれをば
ら撒き、今も妨害工作を続
けているのです」
文書には何とも刺激的な
こんな一節がある（以下、
◇内の翻訳は小誌）。

「韓国は「明治日本の産業
革命遺産」が世界遺産リス
トに記載されることに反対
する。もし、この不適格な
遺産がICOMOSの推薦
や世界遺産委員会の決定に
よってリストに記載される
なら、それは選考方法がい
い加減で、世界遺産条約と
そのシステムが破綻してい
ることを意味する」
韓国が主張する反対の論
拠はすべてこの文書に記さ
れていた。主な部分を抜粋
すると、
「登録推薦の資産のうち、
七つが第二次世界大戦中に
行われた朝鮮人強制労働に
関係しているためである」
通称「軍艦島」で知られる
端島炭坑や、三池炭坑、旧八

幡製鐵所などで徴用された
朝鮮人は日本から「非人道
的な扱い」を受けてきたと
強調。そして、「ユネスコ
憲章の「諸国民の間の協力
を促進」して「平和を維持
させる」という基本原則を
犯すものである」と主張し
ている。

「日本は推薦資産の時期を
一八五〇年から一九一〇年
に限定しているが、生産が
最盛期に達したのは一九一
〇年以降になってからで、
日本の産業化とは何ら関係
ない」ともあるが、日本政
府関係者が反論する。
「一九一〇年で区切ったの
は、同年に行われた日英博
覧会で日本が産業国家とし
て認められたからです。西

洋の産業技術が非西洋に伝
わった遺産として推薦され
ているのですから。
韓国が一九一〇年以降も
含ませたいのは、既に解決
済みの徴用工の問題を絡め
て政治問題化させたいから
でしょう。そもそも、文化
財として世界的に保護する
価値があるか否かを判断す
るのに強制労働の問題は関
係がありません」

文書を読み進めると、こ
んな恫喝めいた文章も随所
に認められる。
「韓国政府及び、その国民
の同意を得ずに推薦遺産を
登録すれば、疑いなく韓国
で激しい抗議の声があがる
であろう」
「大日本帝国によって残虐
に強制労働をさせられた東
アジア諸国間で、国際紛争
に火を付けることになる」
こうした韓国の動きに同
調し、北朝鮮までが世界遺
産登録委に外交文書を送り
つけてきた。そこには、こ
う記されている。
「日本の登録推薦資産は」
日本による植民地時代の非
人道的犯罪としてよく知ら
れている奴隷労働と密接に

韓国 世界遺産 証拠文



今年5月、ユネスコ事務局長と会談した朴大統領

関係する

軍艦島でガイドを務める坂本道徳氏はこう証言する。

「私がかつてこの島に住んでいましたが、長老たちから、朝鮮人に非人道的な労働を課した話など、聞いたことがありません。炭坑の労働が過酷だったのは事実でしょうが、それは韓国人も日本人も同じです。島には朝鮮人が経営していた食堂もあり、学校では日本人と机を並べて学んでいたそうです。また

昭和二十年、端島の人口は千六百人前後でした。韓国は朝鮮人が六百人いたと主張しています。が、考えられません」
鄭大均・首都大学東京特任教授が解説する。

度そのものがおかしいと思います。戦時中の、徴兵・徴用は日本国民の義務だったわけですから、日本統治時代に朝鮮人が動員されるのは、当然のことでした」
また、西岡力・東京基督教大学教授もこう語る。

「当時は、国家総動員法に基づいた徴用があったわけですが、非人道的な労働や、奴隷労働があったのかは疑問です。たとえば、ある朝鮮人の手記では、朝鮮半島から広島に徴用され、昼が敷かれた宿舎で暮らし、白米も食べられ、夜には酒も飲めた、朝鮮半島での暮らしよりもずっとよかった、などと書かれています」
文化庁関係者が嘆く。

「本来、世界文化遺産の審査は、公平かつ中立な立場で、技術的観点から行われるべきものです。そこに政府が他国を中傷する文書を送りつけること自体ルール違反です。しかし、残念ながら外務省が韓国に抗議した形跡はありません」
こうして韓国の卑劣なロビー活動は、今も続けられている。